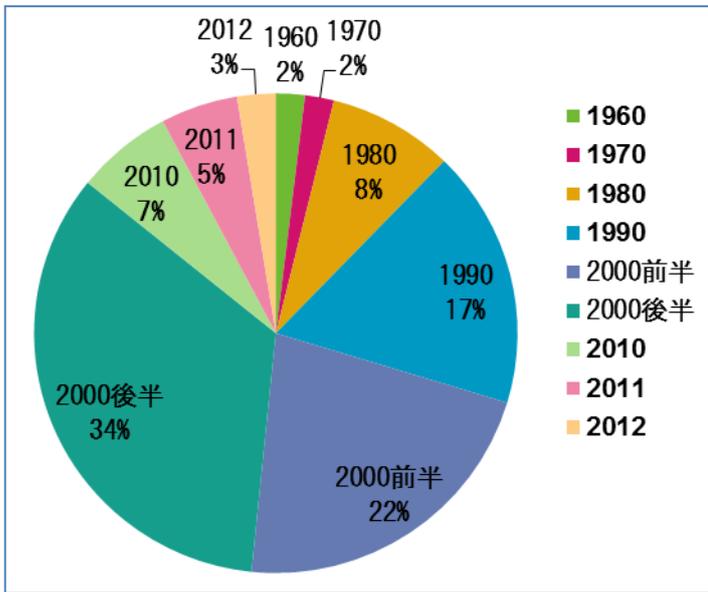


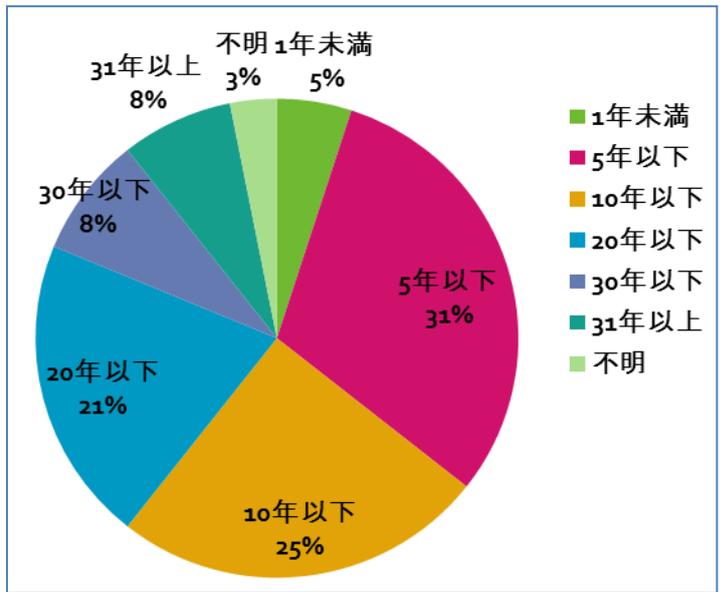
# 八王子市市民団体実態調査アンケート実施結果（回答件数 170 件）

1. 団体が活動を始めた年はいつですか。

活動開始年

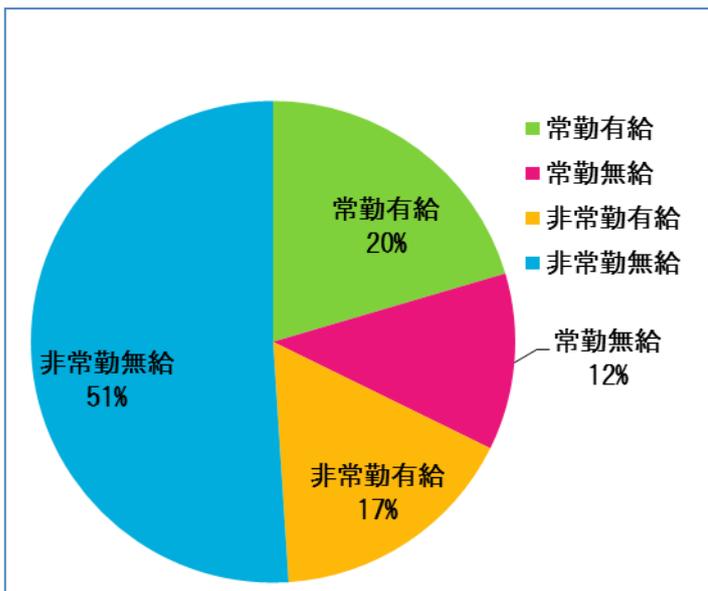


活動年数

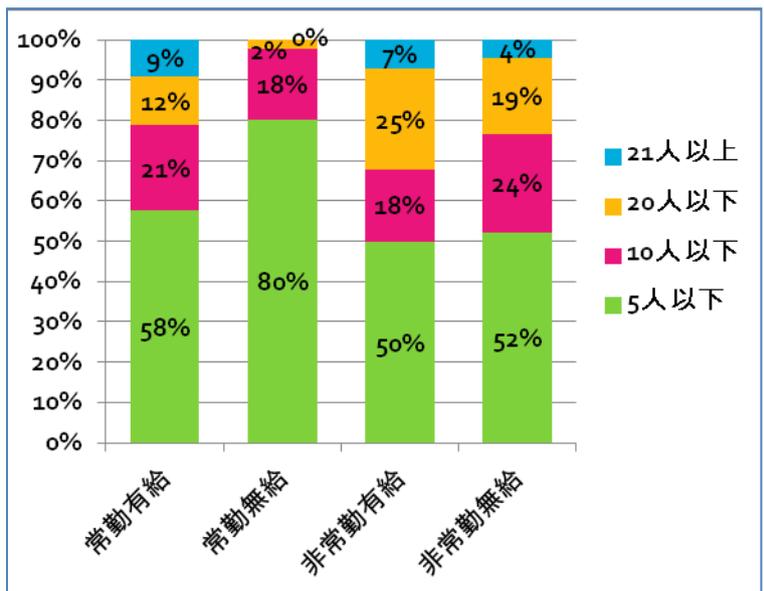


2. 運営スタッフは何人ですか。

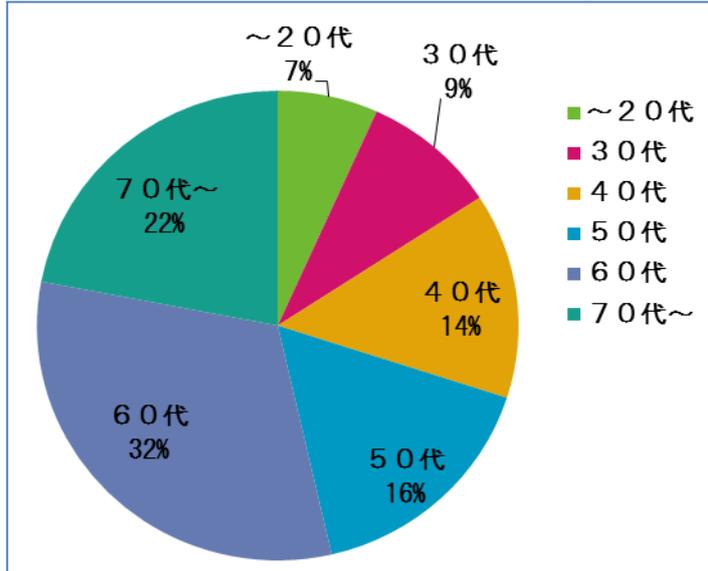
雇用形態別割合



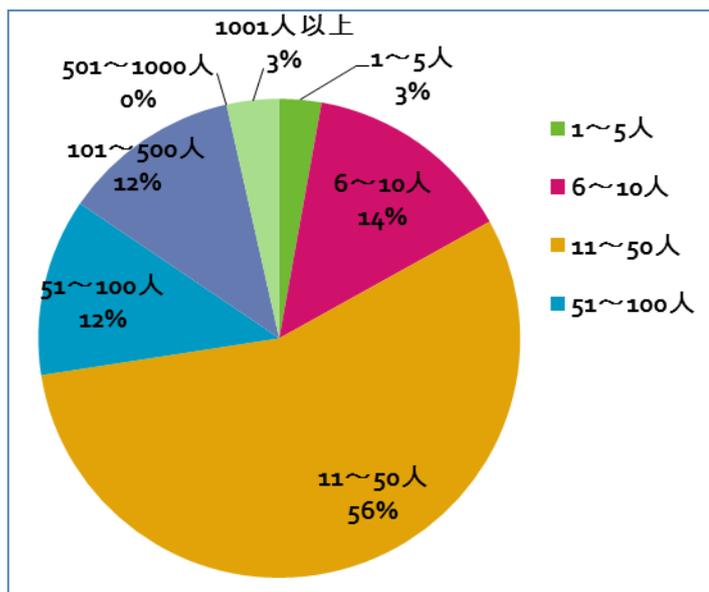
スタッフ数



3. 運営スタッフは何歳の方が何人いますか。

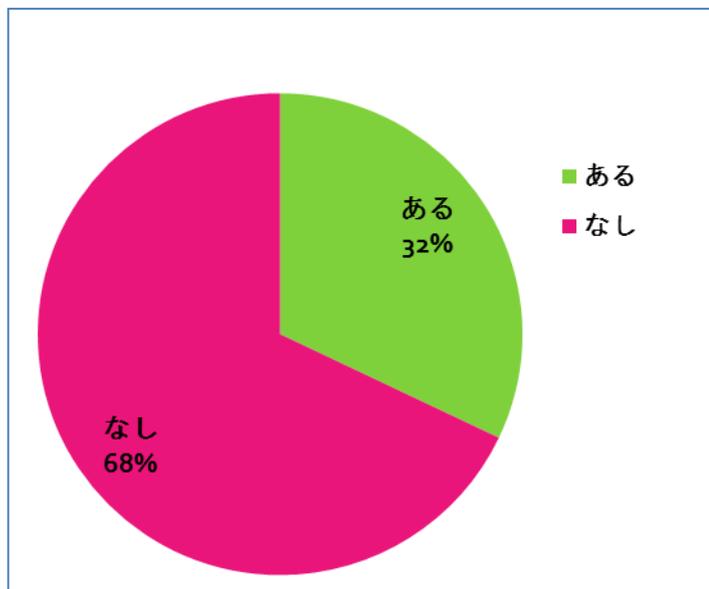


4. 会員数は何人ですか。

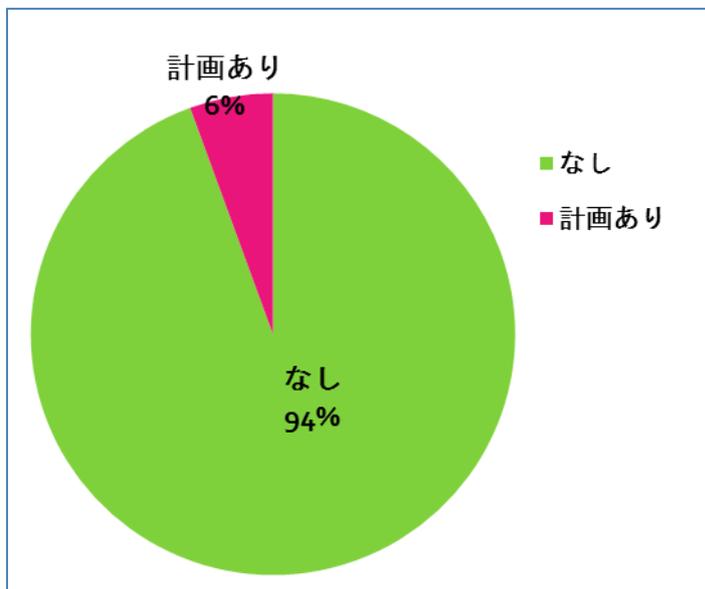


5. 団体専用事務所がありますか。

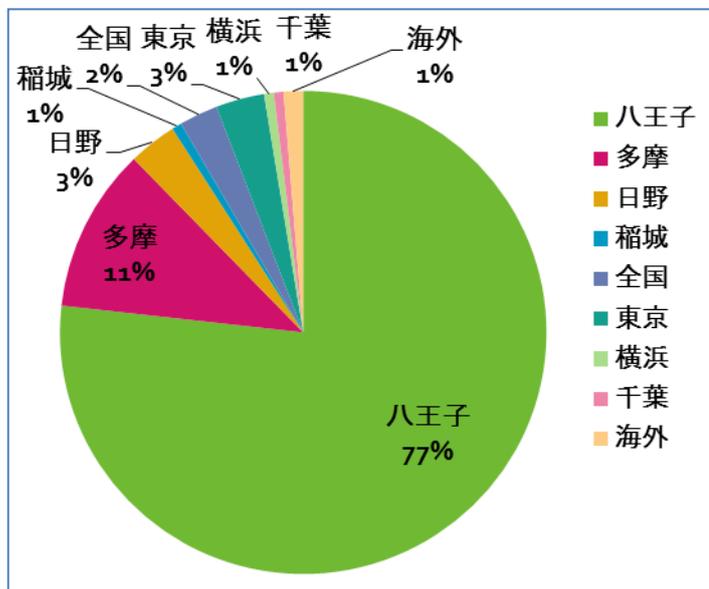
事務所の有無



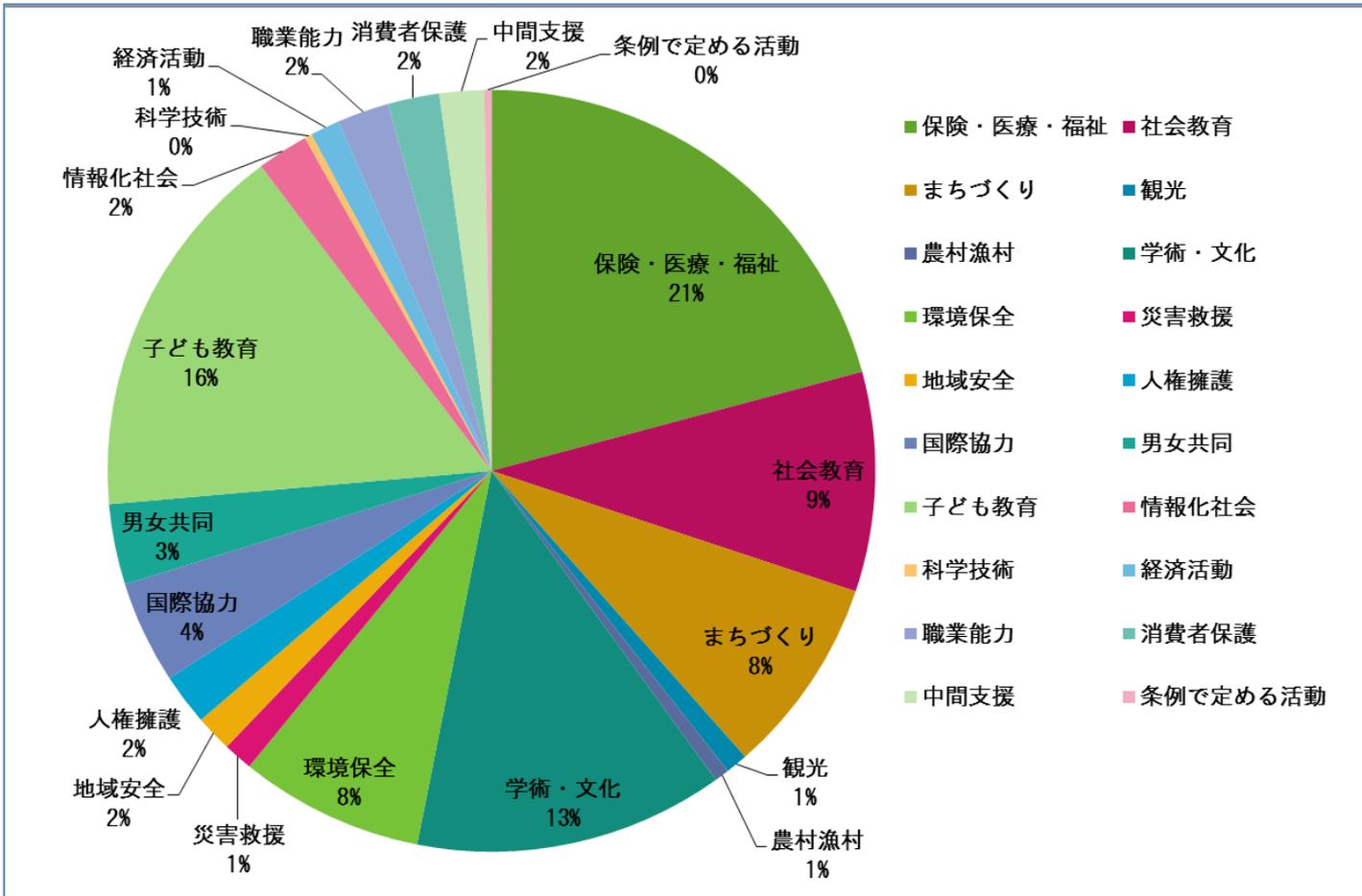
事務所設置予定 (計画ありは6件、予算は2万円以下)



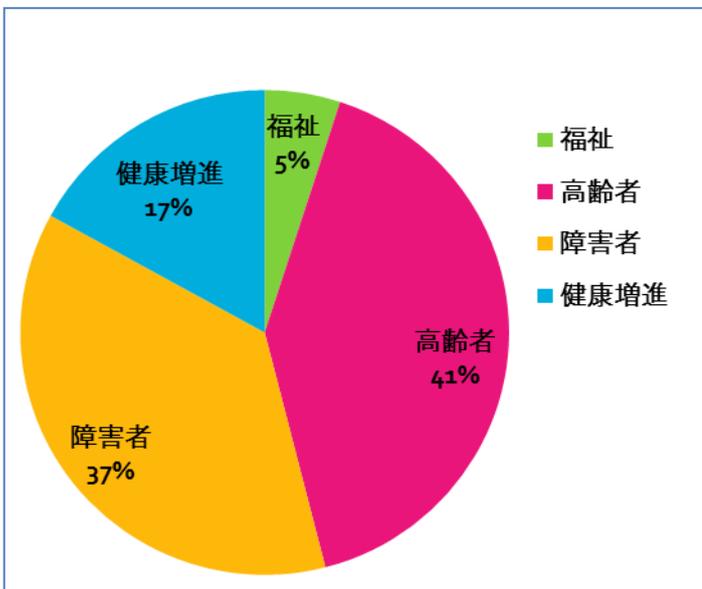
6. 主な活動エリアはどこですか。(複数回答)



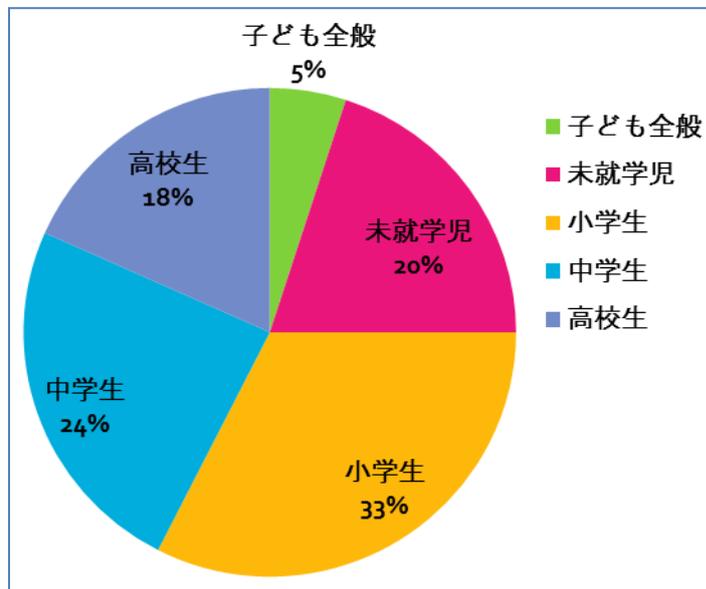
7. あなたの団体の活動分野は何ですか。(3つまで可)



福祉分野 活動分野別内訳

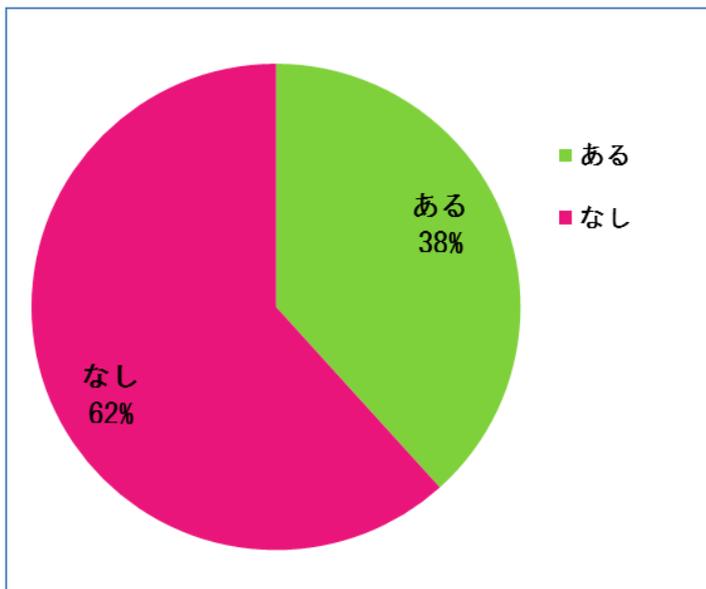


子ども分野 対象年齢別内訳

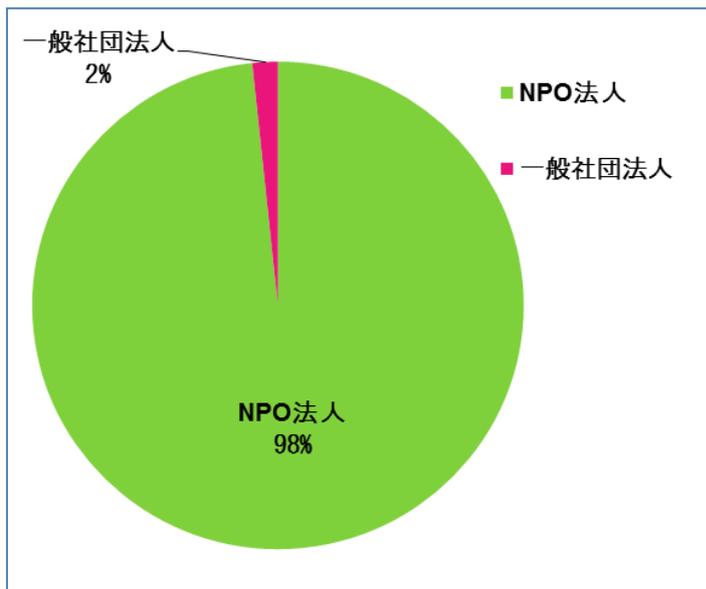


8. 法人格はありますか。

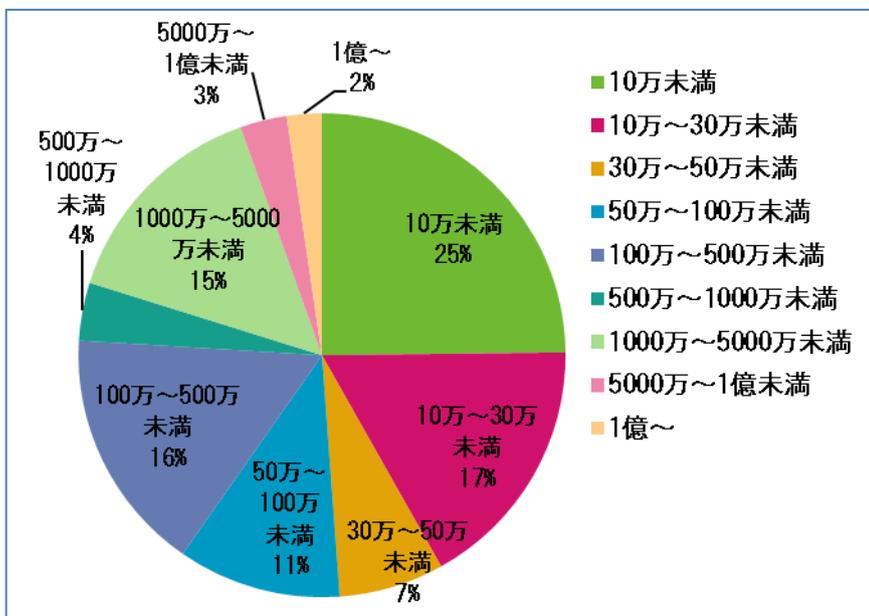
法人格の有無



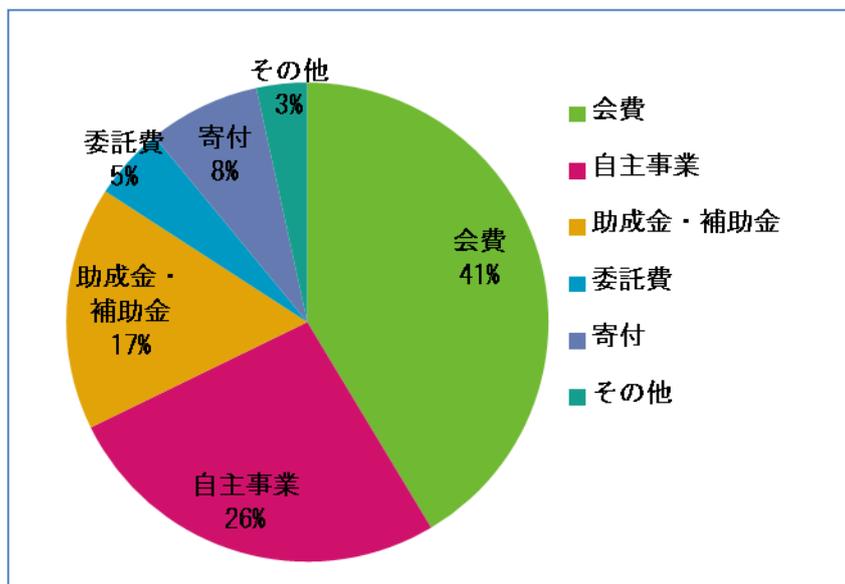
法人格の種類



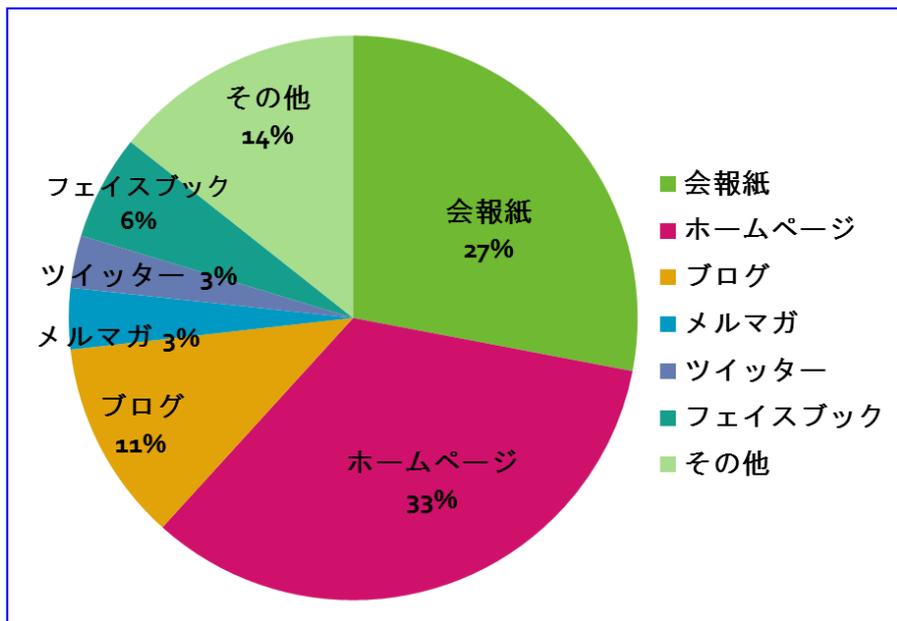
9. 事業規模はどのくらいですか。



10. 事業収入のおおよその内訳はどのようになっていますか。

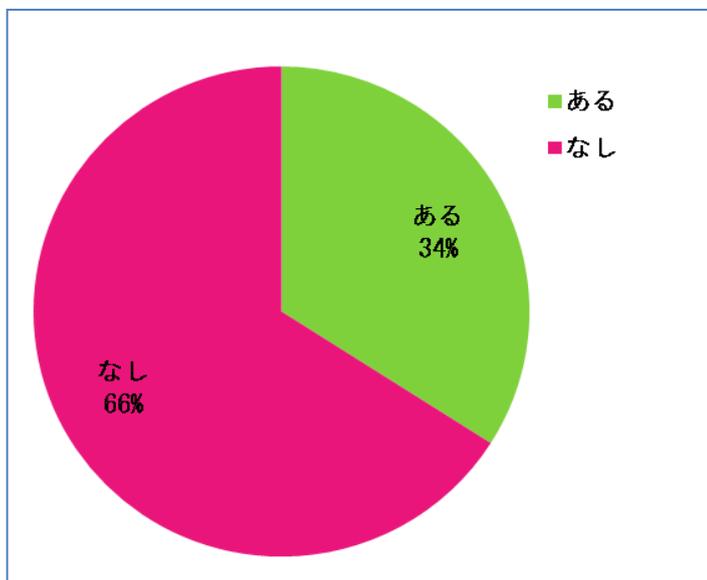


11. 情報発信はどのように行っていますか、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

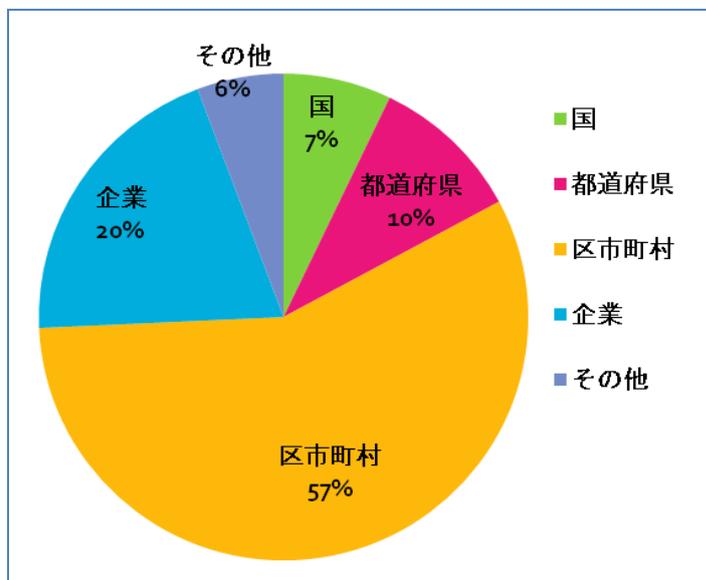


12. 自治体・企業との協働事業を受託したことがありますか。

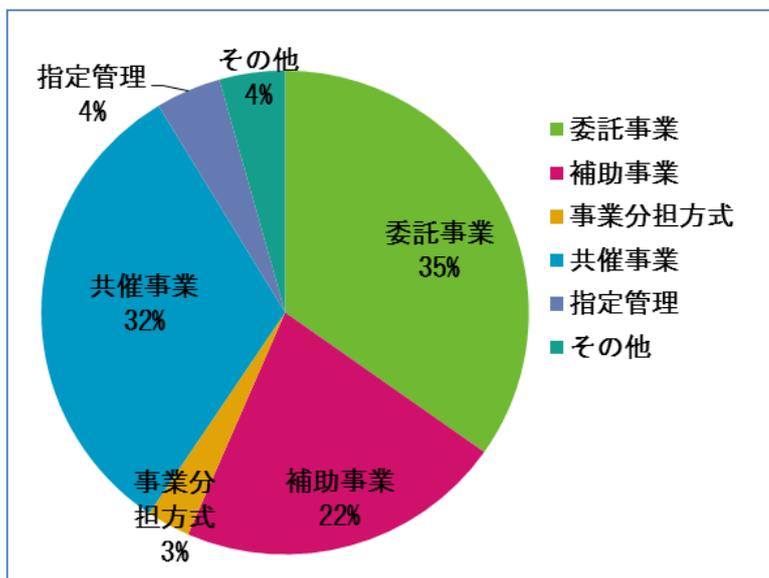
受託状況



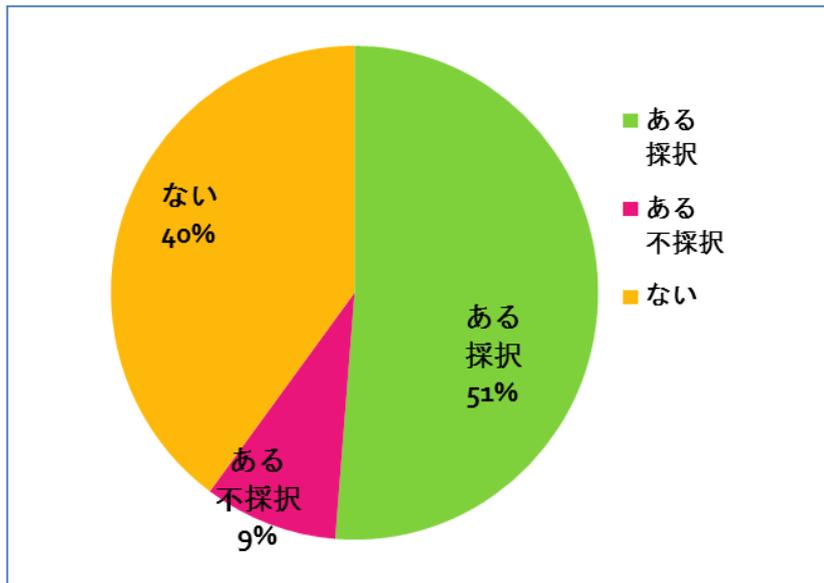
受託先



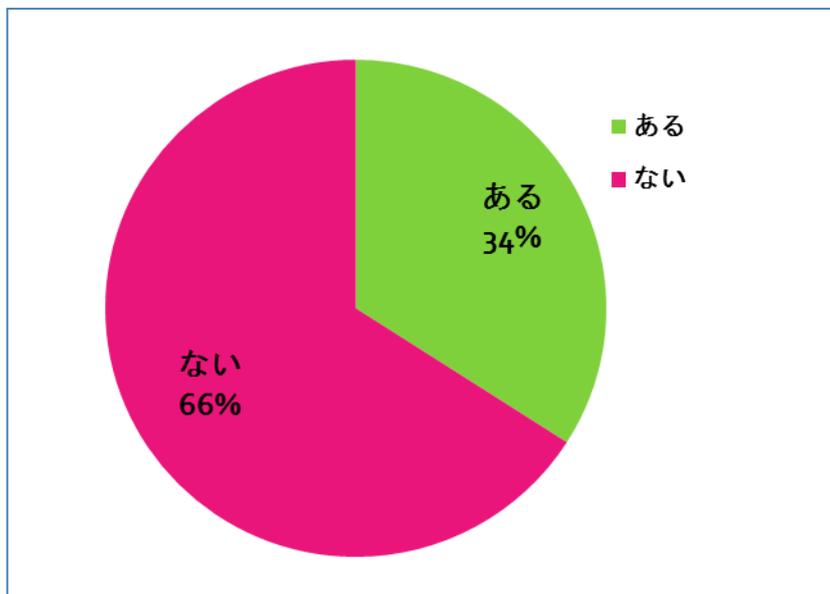
13. 受託したことがある方にお聞きします、協働の形態に該当するものに○をつけてください。(複数回答可)



14. 助成金・補助金を申請したことがありますか。  
申請をした方にお聞きします、結果はどうでしたか。



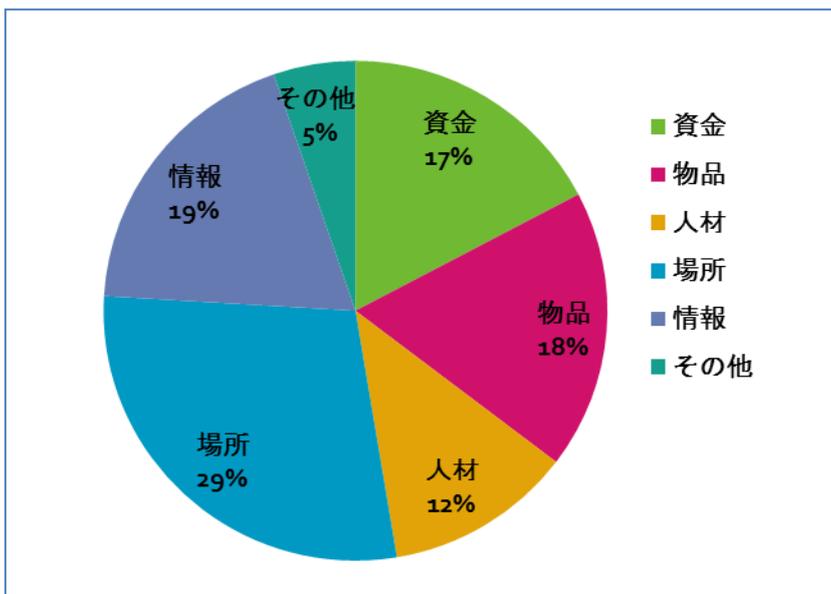
15. 地縁組織（町会・自治会等）との関わりについてお聞きします。



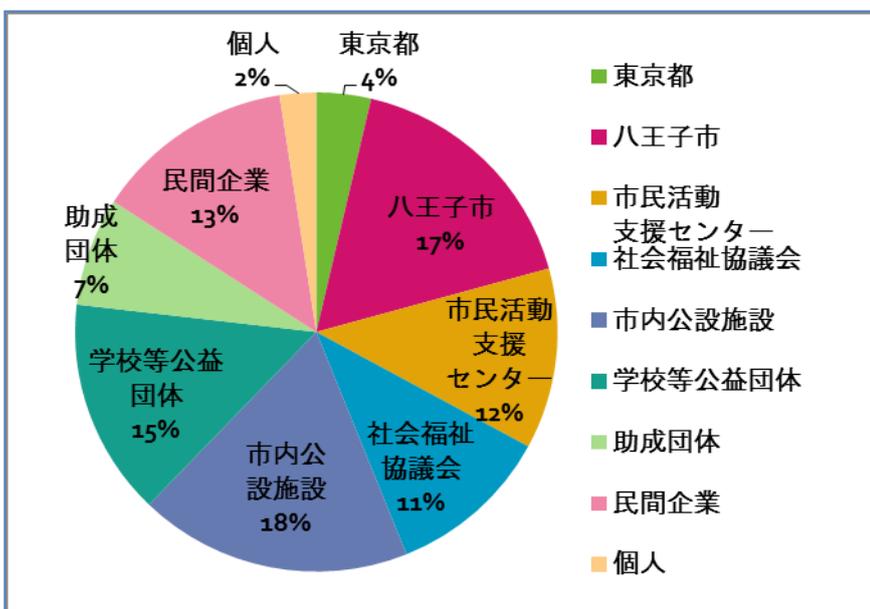
《地縁組織との今後の連携について自由に書いてください。》

1	老人会等での広報活動を積極的に行っていきたいと思っておりますが、交流をもつ機会が少ないため足踏み状態です。
2	事業ごとに必要性があれば連携を図っていききたい。
3	町会、自治会は他の地域の主催者に対して活動の場を受けいれてもらえない所が多く、行政からの働きかけが必要と感じています。
4	各町会及び各組織とは今後も更に密接に連携したい。
5	ゆっくり、できることを限定して連携したい
6	決定した活動内容の必要性及び効果に応じて、連携を検討する
7	町内会のお祭りに出店などはしていますが、地産地消を目的とするために、地域での情報や協力、連携が取れるとより一層良いと思う
8	地縁組織は役員の変更で（実は行政も）その個人の関心の度合いにより大きく変化する、また、事務引き継ぎなどで市民団体との関係などは行われないので、継続的に連携していくのは難しい

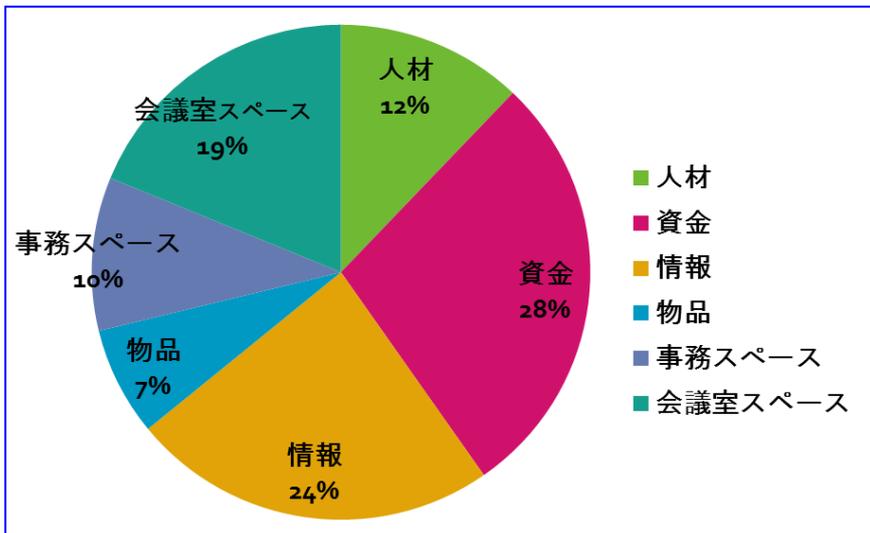
16. これまでに何らかの組織から地域資源の提供を受けたことがありますか。(複数回答可)



提供元組織はどこですか。



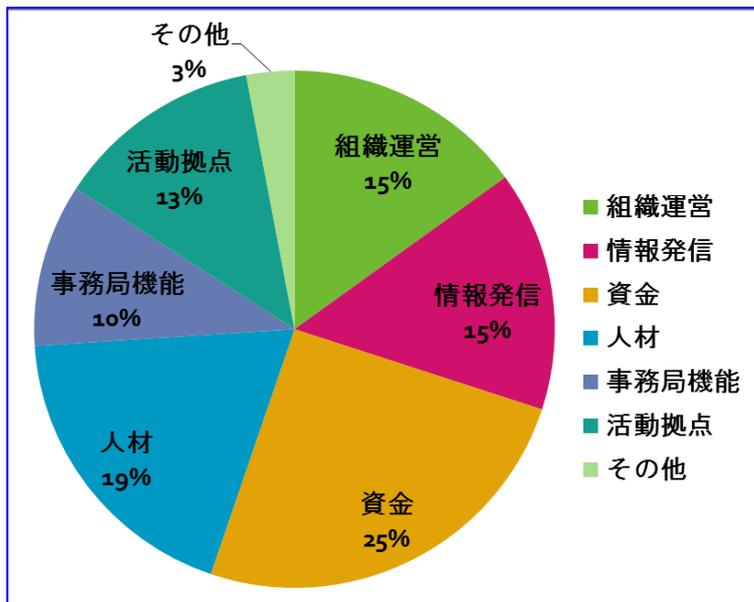
17. 運営や活動を発展させる上で、市や中間支援団体からの支援にどのような支援が必要ですか。(複数回答可)



必要な支援について自由意見

1	若者就労支援につなげる活動、居場所づくりにつながる実績がありますが、人件費などの費用に大変苦労しています
2	家賃補助などのしくみがあるといい。
3	三鷹のように、起業しやすいように、個別事務スペース活動できる会場スペースを増やしてほしい。
4	今後、店舗兼事務スペースが必要になるが、空き店舗の活用や、その情報など、資金的にも安価で、かつ、町の活性化にもなるような取り組みを地域と共に展開していける仕組みがあるといいと思う。

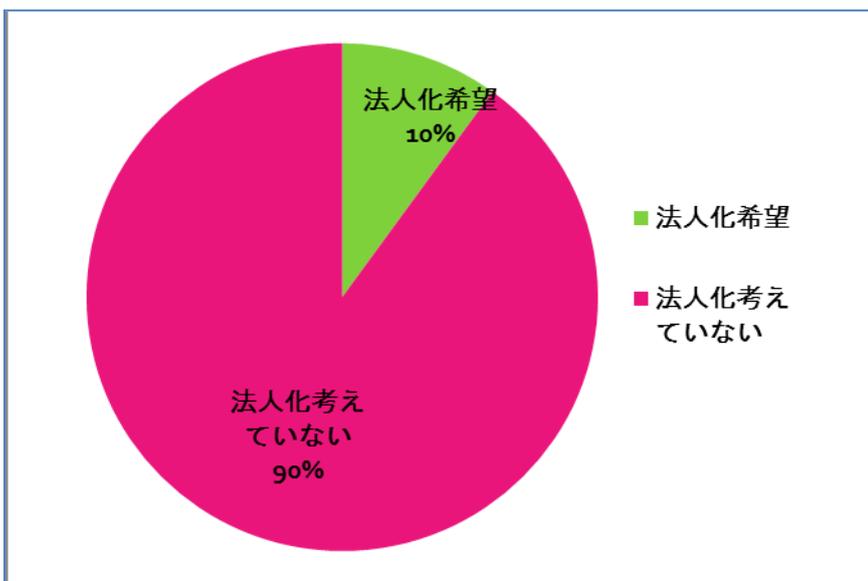
18. あなたの団体で課題になっていることは何ですか。(複数回答可)



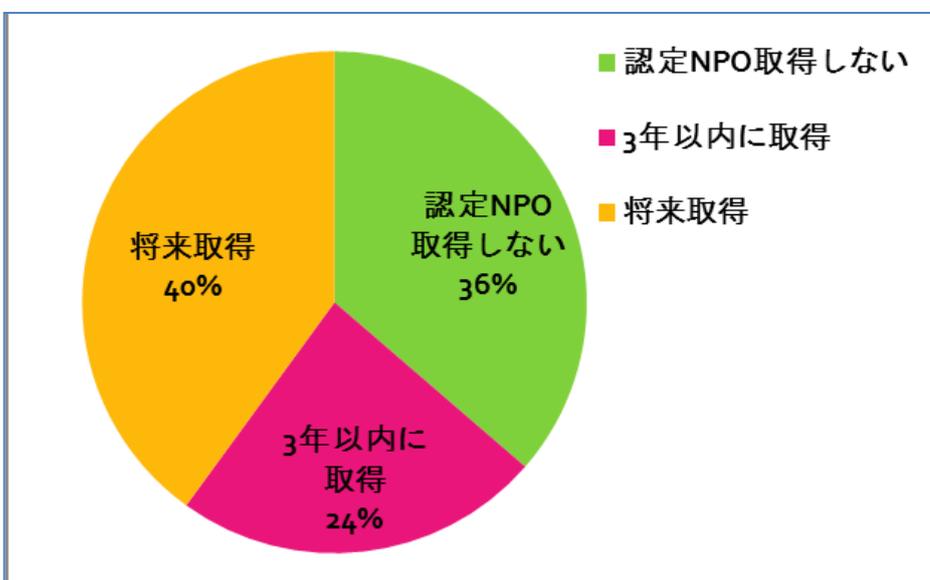
課題について、具体的にお書きください。

1	高齢化
2	会員が常時集まれる活動拠点があれば、能率的な活動ができる。
3	継続のためには 40 代～50 代の人材がほしい。
4	役員・理事そして会員メンバーの若年若手育成
5	幹事・グループリーダーの人選難
6	イベントを企画する際に、参加費と会費（自主財源）だけでは難しい、実際にいつも参加している会員は少ないので負担になりかねない。事務局数名も仕事とかけもちでなかなか思うように時間が取れない。
7	運営委員が高齢化していること、委員は河川環境に関心を持ち自ら情報収集し、委員会で情報交換して、課題の検討を行うため、与えられるのを待っている状態では継続が難しい、全て自費のボランティアのため、経済的・時間的、余裕がないと難しいかもしれない、また、活動成果もなかなか具体的にないので、活動に魅力がないかもしれない

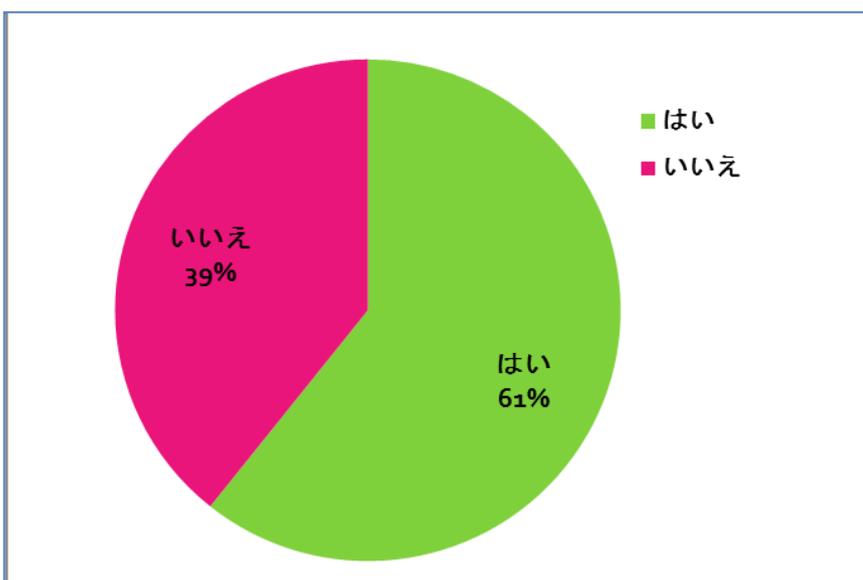
19. NPO 法人以外の方にお聞きします。将来法人化の意思はありますか？



20. NPO 法人の方にお聞きします。認定 NPO 法人を取得する意思はありますか？



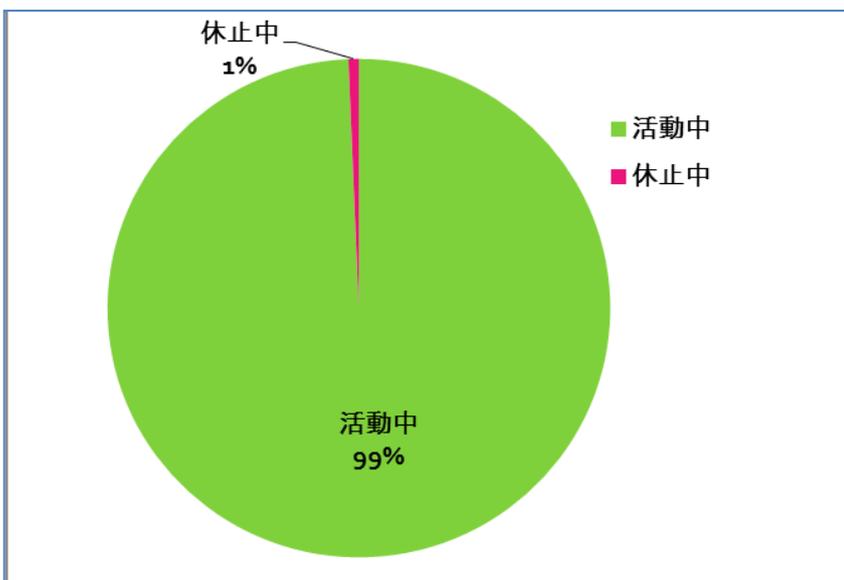
21. 活動のために市民や企業等より寄付を受けたいと思いますか。



22. 寄付、助成金・補助金などを受ける上で、社会からアカウンタビリティ（説明責任）が求められますが、アカウンタビリティ（説明責任）についてどうお考えですか、自由にお書きください。

1	当然のことと考えます。常に情報公開の用意をしています。
2	受ける以上は説明責任があると思います。活動によりすべてを説明というわけにいかない場合もあると思います。
3	当然と思う。例えば報告書の作成などに忙殺されてしまうようでは本末転倒かと思う。簡素でしかも誰が見ても活動内容が分かりやすい方法があると良いと思う。
4	当然だと思います。自分の寄付したお金や物品がどこにどのように使われているかはフィードバックしなければいけないと思います。
5	あまり厳しい場合は支援（寄付、成金 et c）を遠慮します。
6	お金をいただくからにはきちんと責任をもって説明する義務はあると思うが、あまりに形式的に負担がかかる場合は受けること自体、躊躇する場合もある。
7	資金の提供を受けたいのであれば、しっかり行う必要あり
8	資金援助を受けられるとは思えないので、考えられません。

23. 現在の活動状況についてお聞きします。



休止、中止の団体の方にお聞きします、休止、中止の理由、原因をお書きください。

1	人材不足
2	活動スタッフが各々自分の業務を優先、住んでいる所が離れている。共催相手企業からの支援が中止、資金不足…ボランティア（持ち出し）はしない。

24. ご意見、要望などありましたら、自由にお書きください。

1	市民活動は、市内の活性化につながるのので、もっと行政は支援すべき。
2	運営のアイデアで行き詰ったら、相談にのってください。
3	会の活動のみならず、他団体組織の活動にも協働参画し、市の活性化と課題に寄与したいと考えています。
4	このアンケートに活動団体が今後発展するために何が必要か？ その中で自らが取組むべきものは何か、外部に取組んで欲しいものは何か？ 未来志向の項目が必要です。